

水の大切さ

黒瀬 優綺

小郡市立のぞみが丘小学校

私たちは毎日、お風呂に入ったリトイレに行ったり、水を飲んだりしています。このように、生活をしていく上で水はなくてはならない大切な存在です。

私たちが使った水は、下水道管を通って下水処理場へ行きます。そして、まず最初に沈砂池を通って、大きなごみや砂などを沈ませて取りのぞきます。最初沈でん池を通り、細かい汚れをゆっくり流して沈めます。その次は、反応タンクを通ります。反応タンクでは微生物をまぜて空気を入れてかきまぜると、微生物がすごく小さな汚れを食べ、てくれるのです。

そして、最終沈でん池へ行き、反応タンクで汚れを食べて重くなつた微生物を沈ませます。

最後に消毒設備を通り、キレイになった水を塩素などで消毒して、川や海に流します。海に出た水は水蒸気になって雲になり、雨になって川を流れ、私たちの元へともどってきます。これを「水のじゅんかん」といいます。

下水道探偵スイスイの冊子を読んで知らなかった事が多かったです。私たちが、家や学校などで使った水が下水道管を通って、下水処理場に行きキレイになった水を川や海に流していると知ってびっくりしました。なぜなら私は、使った水はそのまま、川や海に流れているものと思っていたからです。でもそれだったら、川や海の水は汚れて

しまつて、魚などの生物も死んでしまうかもしれません。

また、天ぷら油を500ミリリットル川に流してしまつたら魚がすめる水にするのに、お風呂約330ぱい分(99000リットル)のきれいな水が必要になるという事にびっくりしました。

そして、雨水は雨水管を通って海や川に流れるし、放流せずに、下水処理により、再生水にするなど、色々と工夫がされているんだと知つてとても感心しました。

下水道管や下水処理場の役割が分かつたし、下水処理場の水をキレイにしている微生物が小さな汚れを食べているのがおもしろいなと思いました。

水の大切さというのが良く分かつたので、これからは、シャワーの水をこまめに止めたり、食べのこしをしないでいる事が大事だと思いました。